

平成 23 年東北地方太平洋沖地震の被害による 第 2 回災害対策本部会議 資料

平成 23 年 3 月 11 日 19 時 00 分現在
県民生活部消防防災課

1 地震の概要及び被害の状況

(1) 地震の概要

- ・発生日時 平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分頃
- ・震央地名 三陸沖（北緯 38.0 度、東経 142.9 度、牡鹿半島の東南東 130 km 付近）
- ・震源の深さ 約 10 km
- ・規模 マグニチュード 8.8
- ・各地の震度（県内震度 3 以上）
 - 震度 6 強（4 市町） 宇都宮市、真岡市、大田原市、高根沢町
 - 震度 6 弱（4 市町） 那須塩原市、那須町、芳賀町、那珂川町
 - 震度 5 強（18 市町） 足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、矢板市、さくら市、那須烏山市、下野市、上三川町、西方町、益子町、茂木町、壬生町、野木町、岩舟町、塩谷町

(2) 被害の状況

① 人的被害

- ・死者 1 名（芳賀町 1 名）
- ・不明 2 名（那須烏山市 2 名）
- ・負傷者 55 名（鹿沼市 3 名、栃木市 1 名、日光市 5 名、小山市 3 名、大田原市 12 名、下野市 26 名、さくら市 1 名、那須町 2 名、市貝町 2 名）
 - うち重傷 5 名（日光市 1 名、大田原市 4 名）

※死者

- ・建物倒壊に巻き込まれ 1 名死亡（芳賀町）

※不明者

- ・土砂崩れに巻き込まれた家屋にいた 2 名不明（那須烏山市）

② その他被害

- ・大田原消防本部より
 - 大田原消防本部の外壁が剥離し、落下
 - 大田原日赤病院 建物被害あり
- ・塩谷広域消防本部より
 - 建物火災：矢板市 1 件、さくら市 1 件
 - ガス漏れ：高根沢町 2 件、さくら市 1 件
- ・宇都宮市より
 - 宇都宮市清原地内 建物倒壊し、火災の様相
 - 河内地区自治センターの壁落下、水道管破裂、床に亀裂
 - 豊郷地区市民センターの壁落下
 - 上河内 高間木で土砂崩れ
- ・宇都宮市消防本部より
 - 西川田南 2 丁目 工場火災 1 件、建物火災 1 件
 - 平松町建物火災 1 件

- ・南那須消防本部より
那須烏山市神長川西にて土砂崩れ
 - ・大田原市より
市役所本庁舎ひび割れにより使用不能
 - ・日光市消防本部より
今市杉の沢地区で住家の屋根一部破損
 - ・足利市より
エレベーター閉じ込め2箇所（各3名ずつ計6名） 救出済み、けが人なし
 - ・黒那消防本部より
家屋半壊1棟
- ③ ライフライン
- ・県内全域 567,900 軒停電中（18:54 現在）
 - ・J R 全線、新幹線 全線不通
 - ・高速道路 全県通行止め
- ④ 道路状況
- ・国道 408 号線 宇都宮市道場宿交差点北テクノ通り付近土砂崩れにより通行止め
 - ・那須烏山市烏山茂木線 境橋付近道路隆起により通行止め
 - ・大田原市福原橋付近 道路隆起により通行止め
 - ・那珂川町新那珂川橋 通行止め
 - ・矢板那珂川線 通行止め
 - ・日塩もみじライン 落石により通行止め
 - ・大田原市中田原地内 道路陥没
 - ・川俣温泉川治線 落石により通行止め
 - ・茂木町八反田橋 通行止め
- ⑤ その他
- ・足利市新中河原橋（袋川）にて油流出

2 避難状況

- ・大田原日赤 患者 100 名が大田原市民体育館に避難
- ・J R 宇都宮駅から 500 名が旭中学校に避難
- ・市貝町で数十名が役場に避難中
- ・経済同友会において水と食料の供給を検討中

3 県の対応状況

- 14 時 46 分 災害対策本部設置
- 16 時 00 分 第 1 回災害対策本部会議
- 18 時 15 分 県から自衛隊に対し、災害派遣要請（真岡市への給水支援）
- 18 時 30 分 県から自衛隊に対し、災害派遣要請（那珂川町への給水支援）
- 19 時 20 分 県から自衛隊に対し、災害派遣要請（那須町への給水支援）

4 その他

- 17 時 28 分 ドクターヘリで獨協医科大学病院医療スタッフ（医師 3 名）が大田原市（大田原日赤集合）へ出動
- 17 時 35 分 上都賀総合病院の医療スタッフ（医師 2 名、看護師 4 名、事務 2 名）が大田原市（大田原日赤集合）へ出動